

ソフィア・シンポジウム:

ヨーロッパ統合の現状と課題
～EUと構成国の現状を多角的に分析する～

日 時: 2007年6月29日(金)・30日(土)
場 所: 上智大学中央図書館9階 L-911 会議室
使用言語: 日本語・フランス語・ドイツ語(一部通訳あり)

※ 入場無料・事前手続き不要

主催: 上智大学ヨーロッパ研究所
上智大学外国語学部フランス語学科
後援: 在日フランス大使館

6月29日(金)

第1セッション: 大統領選挙後のフランスとヨーロッパ (14:00~17:30)

2007年大統領選挙のフランス	中村雅治 (上智大学)
グローバル化の中のフランス経済—大統領選挙後の争点	J. L. ムキエリ (パリ第1大学)
共和国、ライシテ、サンパピエ—一つの事例から	水林 章 (上智大学)
欧州統合とフランスのガバナンス	久邇良子 (東京学芸大学)

6月30日(土)

第2セッション: ローマ条約調印50周年のヨーロッパ (9:00~12:30)

ヨーロッパの文化的多元性	J. -C. オロリッシュ (上智大学)
欧州経済のグローバル化と新産業政策	長部重康 (法政大学)
大統領選挙後のフランスのヨーロッパ政策	C. ルケンヌ (パリ政治学院)

第3セッション: 国内社会のヨーロッパ化 (14:00~17:30)

ドイツとEU・理性から発する情熱	M. -P. メル (ベルリン・フンボルト大学)
ヨーロッパとイスラーム—何が共約不可能なのか	内藤正典 (一橋大学)
EUと国内政治—加盟国国内政治過程の「ヨーロッパ化」をめぐって—	河崎 健 (上智大学)

都合によりプログラムの一部を変更いたしました。